



情報通信審議会

会長 庄山 悦彦 殿

総務大臣 増田 寛也

諮 問 書

下記について、別紙により諮問する。

記

Ku 帯ヘリコプター衛星通信システムの技術的条件

諮問第2025号

Ku帯ヘリコプター衛星通信システムの技術的条件

1 諮問理由

災害時には、救助活動や復旧対策を迅速かつ円滑に行うため、災害現場の状況を的確に把握することが重要であるが、災害時は陸上の交通手段が途絶する等被災地へのアクセスが困難となる場合もあり、機動性に優れたヘリコプターを用いて上空から情報収集を行うことが有効である。現在では、地上の無線局を中継してヘリコプターから画像情報の伝送を行う方式が使われているが、運用範囲が地上の無線局の見通し範囲内に限られる制約がある。

このため、日本全体をカバーする通信衛星を利用することで、地上の無線局が設置されていない地域においても大容量の画像情報をリアルタイムで伝送可能とするKu帯(14.0-14.5 GHz帯)を用いたヘリコプター衛星通信システムに対するニーズが高まっている。

このことから、Ku帯ヘリコプター衛星通信システムの技術的条件について諮問を行うものである。

2 答申を希望する事項

Ku帯ヘリコプター衛星通信システムの技術的条件

3 答申を希望する時期

平成20年12月頃

4 答申が得られたときの行政上の措置

関係省令等の改正に資する。

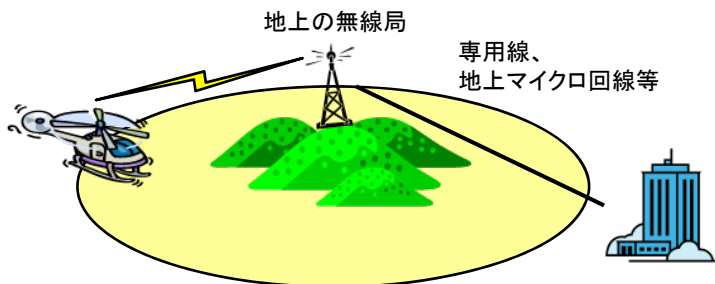
ヘリコプター衛星通信システムの概要

ヘリテレ(従来システム)

地上の無線局を介して映像を伝送するシステム

【課題】

- 災害の状況や地理的条件によっては、地上の無線局が使用できず、映像の伝送ができないケースが発生。
- サービスエリアの拡大には、地上の無線局の設置が必要。



運用範囲: 半径
30km~100km

ヘリサットシステム

衛星を介して映像を伝送するシステム

【利点】

- 日本全国をカバーする衛星を活用することにより、地上の無線局の設置が不要。
- 地上の無線局を必要としないため、地理的条件によらず、機動的な映像の伝送が可能。

